

## 8.大規模災害に備えた体制整備 8-2 災害時も稼働できる処理施設の整備

## ◎現状／課題

## ○現状と課題

- 大規模地震時に焼却施設は、自動的に安全停止
- 地震により停電した場合、焼却施設は稼働不可となり、ごみの受入しかできない

⇒被災後すぐに発生する生活ごみの処理が困難な状況

## ◎今後の方向性

## ○大規模災害時にも稼働可能な施設への更新

- 耐震性の確保、浸水対策の実施等により災害に強い施設とする
- 災害時による停電時にも稼働できる大型の非常用発電機を設置

⇒大規模な被災時にも早期に処理体制を復旧

## ○施設特性を活かした付加機能の検討

- 更新施設では、廃棄物発電の増強・活用、余熱の多用途への利用、防災拠点、環境教育の場など付加機能を検討

## ◎関連事業（既存／新規）